

2013年10月11日

新日鐵住金株式会社

鉄道車両用アクティブサスペンションが九州旅客鉄道・クルーズトレイン
「ななつ星 in 九州」に採用

新日鐵住金株式会社（代表取締役会長兼 CEO：宗岡正二 以下、「新日鐵住金」）の鉄道車両用動揺防止制御装置（アクティブサスペンション）が、10月15日（火）より運行を開始する九州旅客鉄道の豪華寝台列車クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」に採用されています。九州の鉄道では初の採用となります。



クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」
写真提供：九州旅客鉄道株式会社



当社アクティブサスペンションが
採用となったラウンジカー
写真提供：九州旅客鉄道株式会社

当社が開発したアクティブサスペンションは、鉄道車両の横揺れを低減させます。車体に備えられたセンサーで車体の振動を検知して、逆方向の力をアクチュエーターより発生させ、振動を打ち消すようにコンピュータで制御する仕組みとなっています。ワンランク上の乗り心地を提供する優れた振動制御装置です。空圧式のアクティブサスペンションは2001年に営業車として世界で初めて東北新幹線E2系^{※1}に搭載されて以来、秋田新幹線・山形新幹線のE3系^{※2}の他、東日本旅客鉄道、京成電鉄、小田急電鉄等の在来線特急車、最近では近畿日本鉄道の観光特急「しまかぜ」にも採用され、その乗り心地が高く評価されています。

更に、今後は2014年度末に開業が予定されている北陸新幹線でも、東日本旅客鉄道、西日本旅客鉄道両社の新型車両で採用が決定しています。このほか、電気式のアクティブサスペンションは東北新幹線のE5系^{※3}、秋田新幹線のE6系^{※4}にも採用されています。

「ななつ星 in 九州」は、機関車1両と客車7両で編成される豪華寝台列車です。JR博多駅を発着し、1泊2日や3泊4日の日程で由布院・鹿児島・宮崎・阿蘇・長崎などの九州の観光地を巡ります。客車は、スイート、DXスイート、ラウンジカー、ダイニングカーで構成され、和洋・新旧の融合した豪華な内装などが特徴です。

なお今回、当社のアクティブサスペンションは、「ななつ星 in 九州」のDXスイート（7号車）、ラウンジカー（1号車）に採用されています

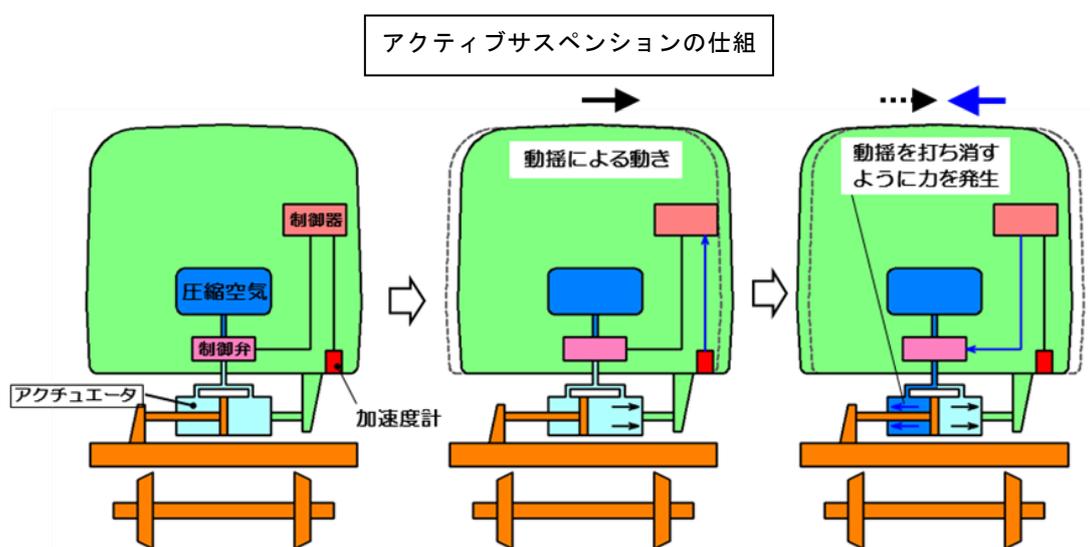
新日鐵住金の鉄道車両品は、今後もより快適で安全な乗り心地を実現し、世界の鉄道の発展に貢献してまいります。

※1：「東北新幹線E2系」は、「はやて」や「やまびこ」の名称で走行しています。

※2：秋田新幹線は「こまち」、山形新幹線は「つばさ」の名称で走行しています。

※3：「東北新幹線E5系」は「はやぶさ」「はやて」「やまびこ」「なすの」の名称で走行しています。

※4「東北新幹線E6系」は「スーパーこまち」の名称で走行しています。



お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2977